

S&Uだより

2024年6月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No319

気持ちの良い晴れの日が結構続いた5月でした。仕事には快適な気候で 本当にありがたかったです。ただ、マルジンはといえば4月末に 久しぶりの「社員旅行」を満喫させていただいた後、1名がコロナに・・・そしてまた1名・・・と、5月の半ばまで感染者が発生し 現場のご依頼が多い中 仕事の段取りが相当大変な毎日でした。コロナも5類になり感染した際の療養期間は 現在、感染症法に基づいて、症状がある人は、発症の翌日から7日間が経過し症状が軽くなって24時間経過したら解除できるとされ、外出自粛が求められています。ただ「5類」に移行したあとは、発症の翌日から5日間は外出を控えるほか、症状が軽くなってから24時間程度は外出を控えることが推奨されるとされています。やはり会社としては「発症してから5日間は出勤を控えてください」と言わざるを得ないので 現場の担当者が発症で休みだったりすると 人員の配置に 大変頭の痛い段取り隊長なのであります。

特に5月は 本格的に能登の一番先端の地域での作業が始まり「宿」「時間」という問題に直面することも多く 事務も現地の作業班も 日々宿泊先を探す毎日でした。近いけれどお風呂はない、食事を買えるコンビニが遠い、携帯の電波が飛ばないなど、いろいろな条件の中 メンバー変更で 予定が変わる事への対応もこなしつつ 頑張っていました。

石川県 及び 能登地方の現況としては 5月連休明けの情報としては

震源地に近い能登半島の大部分は石川県であるため、他の県と比べても被害が大きい。

石川県の30の町・地区では、今も地震による地滑りや土砂崩れの恐れが高く、避難指示が出ている。

そのほとんどが、金沢市のすぐ北にある津幡町・内灘町から北部である「能登地域」の町・地区だ。能登地域は特に被害が大きいと、復旧に時間がかかると見込まれている。能登地域の一部では、通常営業を開始する施設も増えてきているが、2024年4月29日時点では観光は控えた方が良くと言える状況だ。金沢市では日常生活が戻っており、ほとんどの施設が通常営業している。石川県知事も「石川県へ、ぜひ旅行に来てほしい」とコメント。

能登地域以外では、一部の観光施設や宿泊施設が閉館・休業しているものの、観光できる状況だ。

能登地域より以南であれば、観光に訪れても問題ない。

石川県の能登地域を除く地域は観光しても問題がないけれど、北陸地方に旅行することは、その地域への応援になるのにもかかわらず風評被害や過剰な旅行自粛によって、石川・富山・新潟・福井の旅行者は減少しました。

そこで北陸地方への旅行を促すために、石川・富山・新潟・福井の国内旅行者・訪日旅行者を対象に「北陸応援割第1弾」がスタートしました。すぐ、予算枠がいっぱいになってしまいました。そして、石川のみ第2弾が実施されることになった。第2弾の実施期間は、2024年5月7日から2024年7月31日まで。予約は2024年4月19日から開始しましたが あっという間に予算に達してしまったようです。

能登地域に関しては 被災された全員が 今後地震以前の同じ場所で生活をしていくかどうか？そこから決めていかねばならない事でしょう。避難されている皆さんが 日々悶々とされているのだらうと思います。4月30日の時点であわせて4606人が避難所に身を寄せていて、輪島市内の避難所でも仮設住宅への入居の見通しが立たない中、避難生活を余儀なくされている人たちがいます。石川県は、奥能登地域を中心に県内で6421戸の仮設住宅が必要になると見積もっています。先月までに3300戸余りが完成していて、県は、8月までには希望する被災者全員に入居してもらえるよう建設を進めているとのこと。5月1日より輪島市のすべての小中学校で通常どおりの給食が再開され、子どもたちが久しぶりの温かい給食を味わいました。輪島市では能登半島地震の影響で学校に併設された給食の調理場が被害を受け、学校が再開して以降は弁当を提供するなどしていたとのこと。なかなか 早くは進まないようですが それでも少しずつ少しずつ復興が進んでいます。被災者の皆さんの生活基盤が整い 経済活動が整い始めたら「能登応援割」で ぜひ他県から旅行に行つて 能登を盛り上げてほしいものだと思います。棚田に亀裂が入るなどの大きな被害を受けた石川県輪島市の観光名所・白米千枚田で11日、田植えが始まりました。お米も心も実りますように！

マルジン 6月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	25	26	27	29

＜モノレールレンタル料(賃料)の一覧表＞

「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表」
本年4月に改訂されております。
ご入用の方は
マルジン (0778-27-7200)
まで ご連絡ください。

2024年6月第319回は～2001年のS&Uだよりを目にする～について

コロナ禍を経て 集客や売り上げが激減し廃業したという店も多いです。5類になって さあ、これから！という時に 今度は円安。海外からの顧客は増えてきたけれどパンデミック期間の規制に対する反動か、多くの観光地でオーバーツーリズムの問題が生じているようです。交通渋滞、トイレ不足、ごみの不法投棄、騒音、無断駐車などが問題視されている状況です。各地が持続可能な観光スタイルを模索するなか、こうしたオーバーツーリズムの弊害を解決する手段として注目されているのが観光税の導入です。もうすでに観光税の導入に踏み切った場所や、すでに導入していた観光税を値上げした場所もあるようです。食品ですら値上げ、値上げで 野菜の値段も三倍、キャベツなど一玉1000円などといった今までかつてない値段になってきた今日この頃です。

モノレールの資機材も 30年前と比べると いったい何回値上がりしただろう？と忘れてしまうほど高騰しましたが、なんと、マルジンはずっとレンタル料は 値下げしても 値上げはいっさい無しで「頑張っ」というとおこがましいですが 維持を続けております。経団連は5月20日、2024年の春季労使交渉の1次集計結果を発表しました。「大手企業の定期昇給(定昇)とベースアップ(ベア)を合わせた賃上げ率は5.58%で、バブル期の1991年(5.60%)以来33年ぶりの5%超となり、平均引き上げ額は1万9480円で、現行の集計方法(組合員の加重平均)にした1976年以降で最も高い引き上げ額を記録した。」とのこと。大幅な賃上げの背景について経団連は「物価の上昇と(深刻な人手不足の中で)人材の獲得、定着が狙い」とみているようです。調査は従業員500人以上の大企業のうち、22業種、244社が対象とのこと。

ふと2001年の「S&Uだより」に目を通すと・・・

こんな記述に目がいきます。**赤字は2024追加記述です。**

最近 お客様とお話をさせて頂くと「厳しい」というお話をお伺いする事も多いですが 反対に「こういう時代だからこそ柔軟に対応する」という 元気のいい方もいらっやいます。

しばらくお伺いしない間に退社されたという方も・・・(事業を建ち上げると言う方も・・・色々あるさ！)「年々調査用ボーリングの仕事が減って 去年は 半減したよ。今後 どのように転換していくかが問題だな。がんばろう！」

電力長のポストの方はこんな事を・・・

「電気以外の部分で色々開発していく事になったので 頭を柔らかく 全く別の視野でやっていくとの事。モノレールも色々な分野で 多種多様な使い道があると思うよ。お互い情報交換しようよ。」
 今後は中間マージンだけを取っているところはだんだん生き残っていけないよ。**その通りに動いています。**

久しぶりにお見積もりを提出させていただいた方から「やっと、こんな見積もりが出るようになったなあ。そうそう、数字の根拠付けが必要だよ。一式なんでもっての他、でも、まだまだ、いまいちな。人工は工事県ごとの単価表で調べて提出だな。我々が仕事を受けやすい様な見積もりを頼むよ。(今期の課題にします)」**今も県ごとの人工単価は登用していませんね。**
 反対に「マルジンさん、書類を少なくしてほしい。」と言う方も…(えっ？使用届け？発注証明？乗用台車約定書？点検表？すみません、色々あります。今のところ仕事の流れで必要と思えるものをお願いしております。ご担当にお願いするのでご無理なのかも知れませんが。監理係へのお願いは分けた方がいいのかも？(必要最小限で済む様また、提出先を早めにご指示ください。) **今のほうが もっと提出書類多くなりました。**

モノレールは自前で持っている…。
 というお会社でメンテナンスに人員を裂いておられるところを数社しか見かけません。「モノレールは持っているのだが、実を言うとレールも本機も整備してない。そんな予算出ないよ。壊れるまで動かす、台車も脱線するまで使います。」
 (何と申しましょうか？薄氷の安全がそこに…。自社の方は充分気を付けて、他人様にはお貸しにならない様に…) **壊れるまでは 動かされたと思います。**

うちはなんてたって 安ければいいんだよ。

「マルジンさんは高い」お客様から よく言われましたが・・・最近あまり聞かなくなりました。
 ずっと値上げしていないレンタル料が 今は割安に思われるのか？それとも 下請けとして必要な基準を満たしていると 少し認めていただけたのか？
 地道にできることをやってきた事が 次のお仕事に繋がってきたと 思って これからも頑張っていきたいと思う今日この頃です。大企業のように「定期昇給(定昇)とベースアップ(ベア)を合わせた賃上げ率」を引き上げたいところではありますが「では レンタル料、工事代を 物価高に合わせ同じく値上げいたします」とは なかなか宣言できないものですね。
 そういえば2001-10年あたりに大流行だった「ISO」も今や「百害あって一利なし」と 返上する企業が増えているそうです。品質改善をしているという看板のためにシステムを運用し 本来の「顧客のための改善」からかけ離れてしまった事もあるようです。
 より良いサービスを提供するために値上げに踏み切ることも きっと正しいことだとは思いますが。
 マルジンはもう少しこのまま 値段や効率ではなく お客様の満足を優先することができないか・・・
 皆で葛藤していきたいと思っているところです。